



日本生産性本部
JAPAN PRODUCTIVITY CENTER

2022年1月版

IACI
The Industry-Academia Collaboration Initiative
Nonprofit Organization

サーキュラーエコノミー

ビジネスで創る循環経済社会

【2022年度 CE月例会・講座型研修】

参加者募集のご案内

(公財)日本生産性本部 & NPO産学連携推進機構

インパクト 2050！ 循環経済社会への準備は「今！」-1

- 2050 年が注目されています。日本をはじめ多くの国が2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするという目標を出したわけではありません。サステナブル社会をグローバルに構築するため、欧州を中心に「サーキュラー エコノミー（循環経済）」（以下、C E）政策が進められており、多くの国々が2050年前後を目標年次としているのです。
- では、なぜC Eなのでしょう。それは、従来の線形型消費主導経済が限界を示していることが背景にあります。第一は、「地球資源の枯渇」です。人口増加に伴う資源需要に地球が応えられなくなってきたのです。世界人口が 95 億人を超える2050 年には、消費意欲の盛んなミドルクラスが 60 億人を超え、地球 2 つ分の資源が必要という試算もあります。様々な資源の価格は高騰し、貧富の差をさらに拡大させかねません。第二は、「環境汚染の深刻化」です。従来の線形型の消費主導経済は、多様・大量の廃棄物を生じさせてきました。例えば、プラスチック類は陸ばかりか海も汚染し、マイクロプラスチックは魚の食物連鎖を通じて人の健康を脅かし始めました。
- このように、線形型の消費主導経済のインプット側は「前門の虎＝地球資源の枯渇化」、アウトプット側は「後門の狼＝環境汚染の深刻化」に直面し、両者に挟まれた経済は循環型に向かわざるをえないのです。その意味で、2030 年目標のSDG s は 2050 年目標のC Eへの「一里塚」であると言えます。

※「ビジネスで創る循環経済社会」総合パンフレットより

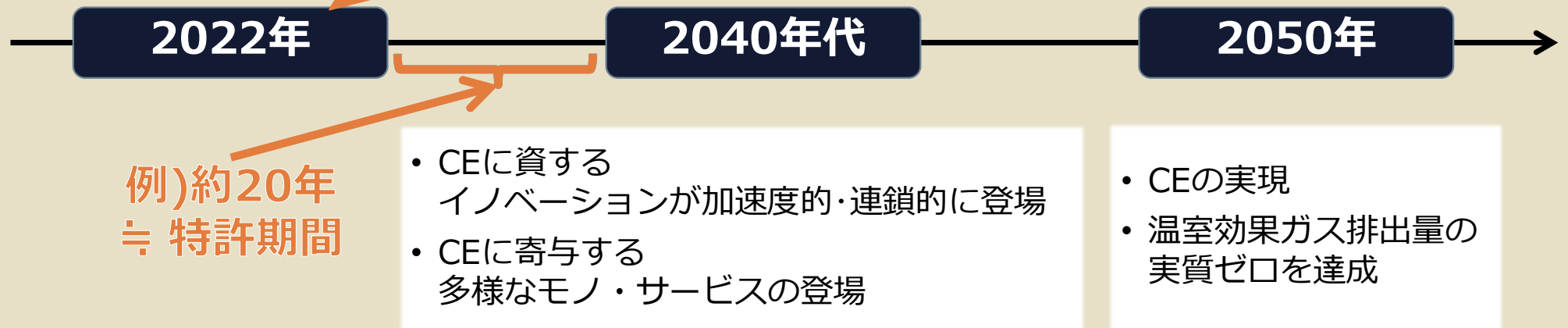
インパクト 2050！ 循環経済社会への準備は「今！」-2

- では、なぜ 2050 年に向け、30 年も前の「今」から取り組まなければならないのでしょうか。
 - それは達成までのロードマップを考えてみると分かり易くなります。2050 年を目標とするならば、2040 年代半ばまでに、それらに寄与する新しいモノやサービスが次々に登場し、世界ではイノベーションが加速度的・連鎖的に起こるに違いありません。これらには革新的な技術が実装されているはずで、新規技術の研究・開発をいつ始め、新規事業を通じた社会実装をいつしていくのか。例えば、特許期間 20 年を前提に考えれば R&D の仕込みは「今！」、新事業企画やイノベーション・デザインを行うのは「今！」、でなければなりません。
 - つまり、人類のサステナビリティを確保する C E へ貢献し、企業のサステナビリティを担う事業を検討することは、まさに「今」からの重要業務なのです！
 - 本プログラムでは、この問題意識に基づいて、皆様の事業に貢献する企画群を揃えました。皆様のご参加をお待ちしております
- # 本プログラムでは、主としてモノ（物質的資源）の循環を議論の対象とします。
（エネルギー資源や情報資源も C E にとって重要な論点ですが、それらを対象にはしていません。）
- # 循環経済生産性ビジネス研究会（月例会）や循環経済ビジネスに向けたイノベーションとビジネスモデル講座(基礎)は、「シーズン 1」として、まず C E の概要・動向等の基本的知識や問題意識を共有いたします。

※「ビジネスで創る循環経済社会」総合パンフレットより

本講座の背景と問題意識

- R&Dの仕込みは「今！」
- 新事業企画やイノベーション・デザイン、ビジネスモデルの準備を行うのは「今！」



御参考
2021年度
実施済概要

【役員・本部長クラス対象 シーズン1】

「循環経済生産性ビジネス研究会」

- 第1回 8月25日(水)「**CEで産業生態系はどう変わるか ～ビジネス観点から循環経済の意味を考える～**」
妹尾 堅一郎 氏 (NPO産学連携推進機構 理事長)
- 第2回 9月22日(水)「**欧州におけるサーキュラーエコノミーの動向**」
喜多川 和典 氏 (日本生産性本部 エコ・マネジメントセンター長)
- 第3回 10月20日(水)「**カーボンニュートラルを命題としたサステナブル経営 ～サーキュラー型ビジネスへの転換～**」
ゲスト講師：壁谷 武久 氏 (一般社団法人サステナブル経営推進機構 専務理事)
- 第4回 11月24日(水)「**我が国の資源循環政策について**」
ゲスト講師：羽田 由美子 氏 (経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課長)
- 第5回 12月22日(水)「**ライフサイクル工学からみたサーキュラーエコノミーと社会的インパクト**」
ゲスト講師：梅田 靖 氏 (東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター 教授)
- 第6回 2022年1月26日(水)「**Society 5.0 -Sustainabilityを強く意識した循環型経済社会への転換-**」
ゲスト講師：吉村 隆 氏 (一般社団法人 日本経済団体連合会 産業技術本部長)

※タイトル・登壇者・概要の変更が生じた場合は、Webサイトに更新情報を掲載いたします。

【役員・本部長クラス対象】

循環経済生産性ビジネス研究会 喜多川 和典 氏からの【今月のTopic-Up】

【今月のTopic-Up 方針】

※タイトル・登壇者・概要の変更が生じた場合は、Webサイトに更新情報を掲載いたします。

- 時期的に話題性のある動向や、参加者層・ご要望等を優先・臨機応変に取り上げる
- 題材のディテールより、そこに含まれる基本要素を読み解く
- 関係の弱い業界関係者にも、今後のCE対策を考える上で参考になる情報・知識を提供するように伝える

実施済
第3回 10月20日(水)

「自動車の電動化とサーキュラーエコノミー ～製品の使用済み管理から全寿命管理への移行 始まる～」

実施済
第4回 11月24日(水)

「デジタルとサーキュラーエコノミー融合のビジネス戦略

～「ドイツ・サーキュラーエコノミーへのロードマップ」からの示唆も受けて～」

実施済
第5回 12月22日(水)

「Veolia Suez合併後の環境サービス産業世界地図とガリバーVeoliaの世界戦略」

実施済
第6回 2022年1月26日(水)

「プラスチックのサーキュラーエコノミー ～欧州におけるケミカルリサイクルの目的と戦略～」

「循環経済生産性ビジネス研究会」 ホスト講師①のご紹介

ホスト講師① 喜多川 和典 氏



- 公益財団法人日本生産性本部
コンサルティング部 エコ・マネジメントセンター長
- 株式会社社会調査研究所(現インテージ)入社。消費財に関わるマーケティング・リサーチ等に従事した後、環境問題専任の研究者となる。その後、財団法人社会経済生産性本部(現公益財団法人日本生産性本部)に移り、行政・企業の環境に関わるリサーチ及びコンサルティングにあたる。2010年から2か年、メキシコにおける自動車リサイクル制度構築支援のため、メキシコ環境省に派遣され、制度構築を行う。
- 上智大非常勤講師、経済産業省循環経済ビジョン研究会委員（平成30年度～令和元年度）、NEDO技術委員、ISO TC323 Circular Economy 国内委員会委員。
- 主な著書に、『サーキュラーエコノミー 循環経済がビジネスを変える』勁草書房、『プラスチックの環境対応技術』情報機構、『材料の再資源化技術事典』日本工業出版（いずれも共著）がある。

「循環経済生産性ビジネス研究会」 ホスト講師②のご紹介

ホスト講師② 妹尾 堅一郎 氏



- **NPO法人産学連携推進機構 理事長**
- 慶應義塾大学経済学部卒業後、富士写真フイルム株式会社勤務を経て、英国国立ランカスター大学経営大学院博士課程満期退学。産業能率大学助教授、慶應義塾大学大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、九州大学客員教授、一橋大学大学院MBA 客員教授、長野県農業大学校客員教授等を歴任。
- 東京大学工学系大学院技術経営戦略専攻「イノベーションと知的財産（ビジネスモデル論）」担当教員、未来ビジョン研究センター「戦略タスクフォースリーダー養成プログラム」担当教員、一橋大学大学院HMBA「サービス・ホスピタリティマネジメント」講座責任者等を歴任。
- 特許庁「グローバル知的財産・標準化戦略に関するケース教材」事業にて「ビジネスモデルデザイン（入門編）」のプログラム開発・実施を担当。
- 現在も東京大学で大学院生や社会人を指導。また企業研修やコンサルテーションを通じて、イノベーションやビジネスモデル、新規事業開発等の指導を行っています。

CEプロジェクト2022（前期） シーズン2

御申込受付中

4月開始：CE月例会

【役員・本部長クラスを想定】

循環経済生産性
ビジネス研究会

5月開講：CE講座型研修

【部長・課長クラスを想定】

循環経済ビジネスに
向けたイノベーションと
ビジネスモデル
講座型研修(基礎)

「循環経済生産性ビジネス研究会」 基本構成（例）

■ ホスト講師のみ登壇の場合 ■

18:30～18:35 開会ご挨拶

18:35～20:40 **ホスト講師の講演・質疑**

※ホスト講師①②による

トークセッションの可能性あり

※途中、適宜休憩

20:40～20:45 次回ご案内・閉会

※ホスト講師① 日本生産性本部 エコマネジメントセンター長

ホスト講師② 産学連携推進機構 理事長

※終了時間は、現在検討中。（延長の場合21時終了予定）

■ ゲスト講師登壇の場合 ■

18:30～18:35 開会ご挨拶

18:35～19:05 **CEトピックご紹介**

CE月例会ホスト講師① 喜多川 和典 氏

19:05～19:45 ゲスト講師ご講演・ご講義

19:45～19:50 休憩

19:50～20:40 **トークセッション**

ゲスト講師×ホスト講師② 妹尾 堅一郎 氏

20:40～20:45 次回ご案内・閉会

【役員・本部長クラス対象】

通称
CE月例会

「循環経済生産性ビジネス研究会」

- 実施形態：**完全オンライン**（日程：毎月1回・水曜夜、18:30～20:45）
- 実施日程：

シーズン2

2022年4月～2022年9月

- 2022-① 4月20日(水)
- 2022-② 5月25日(水)
- 2022-③ 6月22日(水)
- 2022-④ 7月27日(水)
- 2022-⑤ 8月24日(水)
- 2022-⑥ 9月28日(水)

シーズン3

2022年10月～2023年3月

- 2022-⑦ 10月26日(水)
- 2022-⑧ 11月16日(水)
- 2022-⑨ 12月21日(水)
- 2022-⑩ 2023年1月18日(水)
- 2022-⑪ 2023年2月15日(水)
- 2022-⑫ 2023年3月15日(水)

【役員・本部長クラス対象】
「循環経済生産性ビジネス研究会」
シーズン2

通称
CE月例会

- 第1回 2022年4月20日(水) 喜多川 和典 氏 (日本生産性本部 エコ・マネジメントセンター長)
第2回 2022年5月25日(水) 妹尾 堅一郎 氏 (産学連携推進機構 理事長)
第3回 2022年6月22日(水) ゲスト講師：平沼 光 氏 (東京財団政策研究所 主任研究員)
第4回 2022年7月27日(水) 喜多川 和典 氏 (日本生産性本部 エコ・マネジメントセンター長)
第5回 2022年8月24日(水) ゲスト講師：関口 智嗣 氏 (産業技術総合研究所 執行役員)
第6回 2022年9月28日(水) ゲスト講師：調整中

- # 実施時間は、18:30～20:45 (延長の場合、21:00完全終了)
- # 第2・3・5・6回は、上記登壇者に加え、喜多川氏の「Topick-Up」ございます。
- # 全回、ホスト講師・ゲスト講師とのセッションございます。

※タイトル・登壇者・概要の変更が生じた場合は、Webサイトに更新情報を掲載いたします。

通称
CE月例会

「循環経済生産性ビジネス研究会」

○ 対象：役員、本部長クラス

○ <このような方におすすめです>

- ✓ 欧州CEの最新動向・情報の要点を短時間で捉えておきたい。
- ✓ 急速に進むCE政策や標準化活動など、その実態を把握したい。
- ✓ SDGsやESGとの関係をどうとらえて経営方針に織り込むべきか悩んでいる。
- ✓ CE活動はととも1社では成し得ないので、交流・仲間づくりしたい。

○ 内容：

本CE月例会はシーズン2・3として、循環経済に関する国内外の最新動向及び日本企業、社会へのインパクトを中心とした基本的な事項について、最新情報の提供・講義・ゲスト講師による講演等の研究会を開催いたします。

「循環経済生産性ビジネス研究会」 参加費と全6回一括限定特典

○ 参加費（税込）：

会員種別 ※1	全6回一括 ※2	単回
日本生産性本部 賛助会員	16万5千円/式	33,000円/回
産学連携推進機構 IACIパートナー		
一般	18万9千円/式	

※1. 会員種別がご不明な場合は、開催事務局までお問合せください。

○ 「全6回一括」お申込者への限定特典

- 特典1：単回と比較して、総額約5～17%割安です。
- 特典2：開催当日にやむなく御欠席された場合も、見逃し配信（※）をご覧ください。
※「Vimeo」のクローズドサイトにて開催週末～翌週水曜18時まで配信予定。
- 特典3：参加者の名刺情報・専用メーリングリスト等へアクセスいただくことができます。
- 特典4：ホスト講師・妹尾堅一郎の連載記事（私家版・冊子）等を進呈いたします。
- 特典5：オンライン・オフライン交流会（別途有料）に御参加いただくことができます。

「循環経済生産性ビジネス研究会」 お申し込みにあたっての注意事項

- お申し込み期日とお支払い期日について
 - 全6回一括：CE事務局（日本生産性本部）とご相談ください。
 - 単回：各回の開催日2営業日前までのお申し込みを原則としております。
なお、お支払い日については、CE事務局（日本生産性本部）とご相談ください。
 - いずれの場合も、必ずキャンセルポリシー（後述）をご確認のうえ、お申し込みください。
- 全6回一括限定特典の適用について
 - 初回（4月20日開催予定）を含めて全一括でお申し込みいただいた方のみへ適用されます。
 - 初回「単回」へのお支払後に「全6回一括」への切替はできませんので予めご了承ください。
（事後変更の御希望をいただいても、限定特典は付与されません。）
- Zoom接続先（URL等）のご案内はお支払い確認が取れましたら、**開催日の前日(火曜日)夕方頃**にCE事務局（産学連携推進機構）より御連絡いたします。なお、開催日前日までに正式なお申し込みをいただけない場合は、開催日当日の正午過ぎの御連絡となりますので、何卒ご了承ください。

「循環経済生産性ビジネス研究会」 キャンセルポリシー

- キャンセル料について：
 - (ア) 開講日の14営業日前～7営業日前までのキャンセル申請：30%
 - (イ) 開講日の6営業日前～2営業日前までのキャンセル申請：50%
 - (ウ) 開講日の営業日前日のキャンセル申請：80%
 - (エ) 開講日当日以降：100%

- キャンセル申請の方法：メールにて開催事務局までご連絡ください。

循環経済ビジネスに向けた イノベーションとビジネスモデル講座型研修(基礎)

※通称：CE講座型研修（基礎）

第1部：オリエンテーションと基礎概念の学習

「ビジネス」の基礎, 「イノベーション」の基礎,
「ビジネスモデル」とは何か, 技術・制度・社会文化の相互関係,
モノとコト, 商品形態×事業業態, N×1×N構造,
オープン&クローズ戦略, パイプラインとプラットフォーム,
サービス, サブスクリプション, シェアリング

第2部：基本的ビジネスモデル群の学習

本体・消耗品モデル, 消耗品・本体モデル, 本体・付属品モデル
インサイドモデル, アウトサイドモデル, モノとサービス,
本体メンテナンスモデルの進展

第3部 CE向けのビジネスモデル

“食”のCE, “容器・包装のCE”, “衣(アパレル)”のCE,
素材と機材のCE, 部品・部材のCE, 機械・設備のCE
脱・モノづくりビジネスと総括

<開催日程：2022年度前期>

第1回 5月18日(水) 13:30~17:50

第2回 5月28日(土) 10:00~17:50

第3回 6月8日(水) 13:30~17:50

第4回 6月18日(土) 10:00~17:50

第5回 6月29日(水) 13:30~17:50

第6回 7月9日(土) 10:00~17:50

第7回 7月20日(水) 13:30~17:50

第8回 7月30日(土) 10:00~17:50

第9回 8月9日(火) 13:30~17:50

第10回 8月27日(土) 10:00~17:50

※進捗状況により終了時間を延長する場合があります。

CE講座(基礎)の特徴

- × 成功事例・失敗事例を羅列する
- × 各事例を既存フレームワークへ単純に当てはめる
- ビジネスモデルの定義、背景、機能・構造・意味、種類等の基礎を押さえた上で、主要なビジネスモデル群を事例や演習として学習する

CE時代に向けたビジネスモデルデザインを行う素地を育成します

ビジネスモデルの基本

顧客価値・社会価値
ファースト

ビジネス

顧客や社会への価値を提供し、正当な対価を得ること

ビジネスモデル

価値提供と対価獲得を両立するための仕組み・仕掛け・仕切り

商品形態
(商材の構成と構造)



事業業態
(稼ぎ方の構造と構成)

CE講座(基礎)：2021年度受講生の声①

毎回ワクワクしながら受講しています。
ビジネスモデルの基礎的な考え方を学べるのは勿論のこと、
「正否ではなく適否で考える」、「言葉の定義にこだわる」など、
学び方のポイントを習得する機会にもなっており、社内でのディスカッションでも
すぐに活用できると感じています。

日清食品ホールディングス 株式会社
江島 勇志 さん

一般的なビジネススクールのような進め方ではなく、答えがない中で
どのように考えるのかという観点で進められているので、学びが大きいです。
講師やスタッフの皆さんも面白いので刺激的です。

ENEOS 株式会社 岡部 隆志 さん

CE講座(基礎) : 2021年度受講生の声②

ビジネスモデル自体を学ぶ機会が、これまで
なかったので、とても勉強になります。
自社事業を見つめ直す良い機会となっています。
株式会社 アイシン 末次 恵久 さん

ビジネスモデルに関する知見を学ぶ中で、
既存の自社事業に対して、
新たな視点を得ることができました。
旭化成 株式会社 新山 知則 さん

ビジネスモデルの考え方自体を学び、
それをベースとした上でサーキュラーエコノミーを
考えるプログラムとなっているので、
とても有意義だと感じます。
凸版印刷 株式会社 佐藤 努 さん

講座の中で取り上げているビジネスモデルが、
サーキュラーエコノミーなど最近のトピックと
どのように結びついているかを
意識して学んでいます。
藤森工業 株式会社 村田 知栄子 さん

CE講座(基礎) : 2021年度受講生の声③

実際の成功事例と照らし合わせて学ぶことで、ビジネスモデルに関する用語や種類、それらの関連性について理解が深まりました。

日常生活の中でも、ネット等で目にする情報について

「ああ、講座でやった〇〇のケースだな」といった気付きの機会が増えました。

旭化成 株式会社 鈴木 浩二 さん

技術・製造畑でキャリアを歩んできたこともあり、
ビジネスモデルや顧客価値を改めて議論する
本講座は、とても新鮮に感じます。

自動車部品メーカー 勤務 F.T さん

色々な業界から学ぶことが多く、
学んだ観点から自社の事業を改めて眺めることで、
さまざまな気づきが得られています。

機械メーカー 勤務 N.K さん

CE講座(基礎)：2021年度受講生の声④

ケースとして取り上げている事例からビジネスモデル上の論点を抽出して議論するというスタイルは、慣れるのに苦労するものの、そこから学ぶ面白さを感じながら受講しています。

三菱鉛筆 株式会社 小林 武 さん

ビジネスモデルについては、以前通ったMBAや書籍でも学んでいましたが、それらはシステムの側面の整理・分類にフォーカスした内容でした。本講座では背景にある顧客価値に重点を置いた、より深みのある分析を行うため、気づきや学びがとても多いです。

昭和電工 株式会社 N.Tさん

主業は連結経営上のエクイティストーリー構築や資源配分であるため、普段はなかなか個別ビジネスモデルを考察する機会がありませんが、具体的な事例をベースに、かつ本業での実践がしやすいよう抽象／普遍化して学ぶことができる本講座は大変役にたっています。

日清食品ホールディングス 株式会社 細田 遥一 さん

CE講座(基礎)はこんな方におすすめ

イノベーションや
ビジネスモデルと言われても、
何をどのように学べばよいのか、
よく分からない

「製造業のサービス化」
「モノづくりからコトづくり」
言葉はよく聞くけれど、具体的に
どのようなパターンがあるのかを学びたい

自らの業界以外の
ビジネスモデル群を学んで
ヒントを得たい

プラットフォーム、シェアリング、
サブスクなど、流行り言葉として知っては
いるものの、その意味を掴みきれていない

他業界の参加者とともに
共通のビジネスモデルの定石を学び、
将来的な協業の可能性を模索したい

サーキュラーエコノミーに向けて
取り組むべきビジネス領域に気づき、
どのようなビジネスモデルが
適切かについて検討の素地を形成したい。

循環経済ビジネスに向けた イノベーションとビジネスモデル講座(基礎)

※通称：CE講座（基礎）

- 実施形態：原則オンライン
- 期間：2022年5月～2022年9月（日程：平日昼間1回/月＋土曜全日1回/月）
全10回 25コマ（水曜2コマ、土曜3コマ）
- 対象・人数：部長・課長クラス、限定25名（最小催行人数：8名）
- 内容：CEビジネスモデルに関する基礎学習を行います。
CE向けビジネスを検討するために必要な、ビジネスモデルの基礎と理論を実例で学習します。

シラバス詳細については
今後Webで公開予定

○ 参加費（税込）：

会員種別 ※	事前一括
日本生産性本部 賛助会員	110万円/式
産学連携推進機構 IACIパートナー	
一般	121万円/式

※ 会員種別がご不明な場合は、開催事務局までお問合せください。

本件に関するお問い合わせ先



CE月例会



CE講座型研修

※2022年度のCE月例会はこちら…

<https://www.jpc-net.jp/seminar/detail/005665.html>

2022年度の講座型研修はこちら…

<https://www.jpc-net.jp/seminar/detail/005664.html>

公益財団法人 日本生産性本部

経営アカデミー

担当：衛藤、梅村

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-6-2

新丸の内センタービル6階

電話：03-5221-8455

<https://www.k-academy.jp/>

Mail：academy_info@jpc-net.jp